

IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム第21回会合

ご注意:

- ご参加いただいた方はすべて議事録にお名前とご所属が掲載され公開されます。
- ご発言の際は以下をご了承の上ご発言ください。
 - 本会合での発言内容はすべて録音・録画されたうえで公開されます。
- ビデオをオンにされますと、ミュートしていても顔映像が録画公開される場合があります。

日時: 2022年7月11日(月)17:00-19:00

参加者(五十音順・敬称略):

場所: オンライン開催

司会進行: 加藤 幹之

資料:

1. [プログラム委員会からの報告](#)
2. [組織化活動に関する報告](#)
3. [活発化チームチャーター改定案](#)

アジェンダ:

1. 本日の打合せの目的確認 [5分]
 - IGF2023ホストである日本政府としての準備状況の進捗報告および共有
 - MAG会合の報告および共有
 - 2022 秋イベント(日本インターネットガバナンスフォーラム2022 ~IGF2023 日本開催を見据えて)について
 - NRI組織枠組み・仕組みの素案について
 - ユース活動の方針提案について
 - チーム定例会合の運営方法について(議長/司会、運営規則を定めるか、等)

2. IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告 [5分]

3. 前回議論の振り返り [5分]

第20回会合の概要[資料(igf2021:764)]:

- IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告
 - 飯田さん欠席のため実施せず
- IGF MAGメンバーからの報告
 - 河内さんより、IGF 2022のセッション募集が締め切られ、計400を超えるセッションが提案され、各MAGメンバーには約40セッションが割り振られたこと、および7月にはMAG会議およびオープンコンサルテーションが開催されることなどが共有された。
- 秋イベントについて
 - 上村氏より、以下の点が共有された。
 - プログラム委員会の運営
 - 委員長: 上村
 - 副委員長: 堀田
 - 対象拡大後のプログラム委員会の名称: プログラム委員会
 - プログラム委員会の担当分け: 上村氏より個別に意向調査を行う
 - イベント日時: 10月27日(木)~28日(金)、両日とも15時~18時半
 - セッション提案の募集期間: 期限を2週間延長して7月10日(日)まで延長
 - (Todo 1.) 応募促進のため、各チームメンバーが働きかけを行う

- NRI組織枠組み・仕組みの素案について
 - 前村より、フォーラム部分と設立発起グループに任せる部分の峻別、JPNIC内での意識合わせおよび議論に集中していた旨説明
 - 設立発起グループへの勧誘対象についての検討状況が共有
 - スケジュールについて質問
 - 秋イベントまでには組織化を間に合わせたい
 - 設立趣意書案の状況について質問
 - 堀田氏より、入ってほしい組織と話してもらうことが重要では、との意見あり
 - 上村氏より、ドメイン名政策委員会の結論の1つとして、JPNIC主体の国内のインターネットガバナンスを議論する場を作る、となっていることとの連続性を考慮すべき、主意書に入れた方がよいのではないかと、とのコメントあり
 - 立石氏より、本件のため話が止まってしまうのであれば、現状の時間のなさを考慮すると脇に置いておいてもよいのではないかと、というコメントあり
 - 加藤氏より、JAIPAでの検討状況について立石氏に質問あり
 - 立石氏より、理事会および総会における状況が共有された。
 - 上村氏より、総務省の思いを説明いただければという旨の発言あり
 - 柴田氏より、飯田氏は海外出張のため不在、国内で活動活発化について検討していることは素晴らしい旨発言あり
 - (Todo 2.) フォーラムと運営団体の分界点文書を改版(前村)
 - (Todo 3.) 設立趣意書を改版(前村)
 - (Todo 4.) 働きかけについて進捗あれば報告(前村)
- ユースについて: 資料2について説明(山崎)
 - (Todo 5.) 次回までに募集要項案を作成する(山崎)
- チーム会合の運営について
 - (Todo 6.) 活発化チームチャーターにチェア設置について反映した案を作成する(前村)

4. 宿題の進捗確認 [5分]

[Todo一覧表](#)を参照のこと

5. IGF MAG報告[5分]

6. 秋イベント(事前会合/本会合)について [15分]

オープニングセッションの内容について、上村さんからチャットに流れた内容(アイデア1から3)について、質問、提案、議論を

- アイデア1: DFFTや政府のデジタル化: 現在進んでいる取り組みについて、政府(総務省、経産省)や経済界(個別企業や経済団体)、市民社会(消費者団体なども含む)を交えて、多角的に問題点を議論する。
- アイデア2: Web3やメタバースから見る: 今後のインターネットのトレンドを読む。今まで情報発信できなかった人たちがメタバースで発信できるようになったということでは、今改めて自由が問われていると言える。(IGF的の文脈では、emerging technologiesを考えるもの)
- アイデア3: ウクライナ紛争後、コロナ後のインターネットの自由: 紛争の当事者双方が、情報を発信し、今や真実はどこにあるか、分からない状況にある。情報を遮断しようとしても、技術的に迂回することができる。インターネットにアクセスできるかどうかは真実へのアクセスを分ける。インターネットガバナンスの縮図。

7. NRI組織枠組み／仕組みについて [30分]
8. ユース活動について[10分]
9. チーム会合の運営について[10分]
10. 本日の議論を受けたTodo確認 [5分]
 - 総務省側実行委員会／協議会について
逐次情報共有をしていただく
 - 秋イベント
24日までにテーマセッション審査を完了
 - NRI組織枠組み
ドラフト文言修正、次回会議で文書を確定させる(前村)
 - ユース
次回までに募集要項ドラフトする
 - チーム会合の運営:
チャーター案については、ラフコンセンサスに至って、7日間ラストコールにかけることとする。todo:ラストコール内容の確認
加藤さんがチェアであることについて:【第19回決まったこと、議事録のリンクを貼る→
お願いして了承いただいたが、今一度ラストコールとしたい】
 - 次回開催日時:8月1日(月)17時-19時
11. 次回打合せについて[5分]
 - 次回アジェンダ(たたき台)
 - 秋イベント
 - NRI組織枠組み
 - ユース
 - チーム会合の運営
 - 次回打合せの開催時期(3週間おき開催が原則)
 - 候補日時:8月1日(月)17時-19時

以上